
????????????????

暴君

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

????????????????

【Nコード】

N4149M

【作者名】

暴君

【あらすじ】

ナギ・スプリングフィールドと一緒に旅をしたことのあるネギがまほらで……
できる限り原作そります。

?????????
(前書き)

作者がダメ人間な上才能がないのでごめんなさい。

??????????

「あれがこうなるから・・・それがこうなる・・・えーと・・・おっと・・・よし、できた。」ああ、挨拶していなかったな

ネギ「俺の名前は、ネギ・スプリングフィールドだ。」

ネカネ「ネギ？何挨拶しているの？」

この人はネカネ・スプリングフィールド

俺の従姉に当たる人で保護者でもある。

ネギ「なんとなくだよ。おねーちゃん」ちなみに今日は卒業式だ・・・俺じゃなくて幼なじみのアーニャのだけど・・・。

そして卒業式が終わり一息ついたところで校長が口を開いた。

校長「あくそしてもうひとつ、特別課題を兼ねた実習でネギ・スプリングフィールドがまほら学園へ向かうことが元老院から実績上納得できるからという理由で通知がきた・・・まあ頑張ってくるのだなネギ・スプリングフィールド。」

ネギ「聞いてないぞ爺」

俺は、あの糞親父と悪魔事件から世界中回ってたから後一年過ぎさなければ行けなかったと思っていたことがバカだった、まさか、元老院がさっさと俺をマギステル・マギとしてコマにするために、最終課題を兼ねた実習でまほら学園に行くことになるとは・・・

まあ、そこから10日間カクカクシカジカということがあったんだけどな。

（10日後）

ネギ 「じゃーな」

ネカネ 「行ってらっしゃい」

アーニヤ 「じゃーね、ポケネギ」

と挨拶を済ませまほら学園へ影のゲートで向かった。

???.???.???.???.???.???.
(後書き)

題名募集中

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4149m/>

????????????????

2010年10月10日15時49分発行